

令和4年第7回にかほ市教育委員会 定例会

日 時 令和4年6月27日(月)

午後1時30分～

場 所 象潟公民館 2階研修室

議事日程

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 議案第40号 にかほ市図書館協議会委員の任命について
- 第 3 議案第41号 にかほ市指定文化財の指定について
- 第 4 報 告

令和4年6月27日招集

令和4年第7回
にかほ市教育委員会会議録

にかほ市教育委員会

令和4年第7回にかほ市教育委員会会議録

1. 期 日 令和4年6月27日 月曜日
2. 場 所 象潟公民館
3. 開 会 午後 1時30分
4. 閉 会 午後 2時37分

5. 出席委員 教育長 齋藤 光 正
委員 佐々木 郁 子
委員 佐藤 道 彦
委員 小松 雅 子
委員 伊藤 知

6. 説明のための出席者

教 育 次 長	畠 山 真姫子
教 育 総 務 課 長	今 野 和 彦
学 校 教 育 課 長	菱 刈 宏 記
生 涯 学 習 課 長	山 田 高
仁 賀 保 公 民 館 長	三 浦 晶 子
象 潟 公 民 館 長	佐 々 木 美 和
フ ェ ア イ ト 子 ど も 科 学 館 長	佐 々 木 和 則
白 瀬 南 極 探 検 隊 記 念 館 長	佐 々 木 孝 人
文 化 財 保 護 課 長	鎌 田 昭 義

7. 書 記 教育総務課副主幹 佐々木 真紀子

8. 会議に付した議案

議案第40号 にかほ市図書館協議会委員の任命について
議案第41号 にかほ市指定文化財の指定について

9. 可決した議案

議案第40号 にかほ市図書館協議会委員の任命について
議案第41号 にかほ市指定文化財の指定について

10. その他の確認事項

(1) 令和4年第8回教育委員会は令和4年7月22日(金)午後1時30分から金浦公民館で開催することにした。

1 1. 会議の要旨

【開会 午後1時30分】

【教育長】

ただいまから第7回にかほ市教育委員会を開催いたします。本日の会議の出席委員は5名であります。では議事日程の第1 会議録署名委員の指名を行います。委員は小松委員さんと伊藤委員さんをお願いします。書記には事務局の佐々木副主幹を指名いたします。それでは日程の第2 議案第40号 にかほ市図書館協議会委員の任命についてを議題といたします。生涯学習課長から説明をお願いします。

(生涯学習課長 説明)

【教育長】

後任は、本の読み聞かせの活動をされており、図書館協議会委員に適任であると説明がありました。こちらに対して、ご意見等ありませんか。

(異議なしの声)

【教育長】

それでは、異議なしと認め、原案のとおり承認することに決定しました。

次に、日程の第3 議案第41号 にかほ市文化財の指定についてを議題といたします。文化財保護課長から説明をお願いします。

(文化財保護課長 説明)

【教育長】

ふたつの有形文化財を市の有形文化財にしたいということでもあります。現在、市指定文化財は101件あります。3月25日に、2件について、にかほ市文化財保護審議会において答申を受けました。このあとの郷土資料館見学の際、現物をみながら説明が行われます。みなさんいかがでしょうか。

【伊藤委員】

今回の文化財の評価額は把握していますか。教育長から101件の指定があると説明がありました。預かっている文化財もあるでしょうし、一点一点に評価額があると思います。それぞれに保険をかけないといけないのではないのでしょうか。

【文化財保護課長】

今回のものは、評価額はつけていません。何点か保険をかけている文化財はありますが、学術的な評価の価値に重きを置いています。

【伊藤委員】

何かあったら、補償、責任問題はどうなりますか。

【文化財保護課長】

寄託を受けているものも含め、何かおきたりしないように保管、管理に気をつけています。

【教育長】

地元の文化財を指定することによって守ることになります。指定し、保護管理することが大事になります。ただ何でもかんでもいうわけでは、文化財審議会で答申し指定するという流れになります。

【伊藤委員】

指定する意義はわかります。にかほ市として保存するということは、費用がかかっても保険をかけるべきだと思います。歴史的希少価値があると言いながら、評価をしないのはどうなのでしょう。

【小松委員】

家財保険のような中での評価はどうなのでしょう。

【文化財保護課長】

いろいろな評価方法があります。購入であれば、購入額が評価額になります。学術的な評価であれば絶対的な評価になりますが、金銭的な価値は、時代によって変動する場合もあります。市として、いちばん大事なことは、学術的価値で残すという点です。とはいえ、寄託されたものについての責任問題は検討しなければと思います。

【教育長】

残すために、保険をかけているかどうか、そのへんどうですか。

【文化財保護課長】

保険をかけられるものについては、かけております。評価額の定まらないものについてはかけておりません。

【教育長】

101件の文化財のなかでも、段差があるということですね。

【文化財保護課長】

金銭的な価値について、段差はございます。

【教育長】

詳しくは、委員会後の郷土資料館見学で今回の指定文化財を見ながらということでしょうか。

(異議なしの声)

【教育長】

それでは、議案第41号については、異議ないものと認め、原案のとおり承認することに決定いたします。

次に、日程の第4 報告です。報告に入る前に、教育次長から、みなさんに報告がありますので、お願いします。

【教育次長】

3点報告をさせていただきます。

1点目は、前回教育委員会でご指摘受けました要保護、準要保護審査、認定についてです。2点目は、不登校児童生徒の適応指導教室の設置に関することです。3点目は、にかほ市の学校環境適正化検討委員会の設置に関することです。

それでは、1点目から、先月5月26日に行われました第6回にかほ市教育委員会におきまして、令和4年度要保護・準要保護の児童生徒の審査、認定の今後の在り方について、教育委員の皆さまに、きちんと検討の経緯や今後の進め方等を提案して決めていくべきところを、担当側からの見解だけで進めようとしてしまったことに大変深く反省いたしました。後日、課内において認定の在り方を再度協議検討しました。その結果、今までどおり、にかほ市は、にかほ市教育委員会の議案として、提案し、審議していただきたいということになりました。検討の内容について、学校教育課長から報告させていただきます。

【学校教育課長】

にかほ市要保護及び準要保護児童生徒認定要綱第5条のなかで、「認定の基準は収入額が必要額の1.2以下の世帯を認定する。ただし、特別な理由があると認めた場合はその限りではない」とあります。単に、1.2という基準を満たしているかどうかは、第一の要件ではありますが、聞き取りによる世帯状況の把握や必要な確認は十分行われるべきであり、また申請書類の収入と課税状況が、現在の状況と時間差があることから

も、家庭内の環境、状況に変化等がある場合も多く、特別な理由にあたるかどうかの判断に十分に反映されるべきと考えます。よって、教育委員会での審議の意義を再確認いたしました。このたびのいたらぬ件につきまして、深くお詫び申し上げます。改めまして、今後ともご指導ご教授いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

【教育次長】

かなり内部で話すきっかけにもなりました。本当にご指摘いただき、ありがとうございます。改めて、にかほ市の在り方が市民のためによいのだと担当も気付いたところです。今後とも、よろしくお願いいたします。

続きまして、2点目、不登校の児童生徒の通う「適応指導教室」の設置についてです。不登校の子どもたちの行く場所になります。こちらについてはまだ、情報を出していませんので、初めて聞かれるかと思うのですが、不登校児童生徒というと、長期欠席年間30日を目安にしていますが、必ずしもその限りではありません。最近は登校しぶり等、コロナ禍の影響もあり、増えている状態です。子ども自体の原因というよりも、育児環境、DV、ネグレクトそういったものもあるとみています。県内で、適応指導教室を設置していないのは、にかほ市だけということです。今のところ、由利本荘市カダレ内にある教室をお願いしています。ただ、そちらも本市の子が増えている状況です。例年3名程前後でしたが、令和3年度末は7名、ほとんど中学生でした。とはいっても、ほかにも多くの子が自宅にいる状態です。昨年度末から、本格的に準備をしてきました。スマイルの奥にお風呂の棟があり、手前に和室があります。その部屋を適応教室に改築して、来年の4月1日オープンの予定です。不登校の適応教室だけではなく、今年の10月1日から児童家庭相談支援センターが開設されます。県の児童相談所の支所のようなものです。こちらは、子育て支援課で準備しています。もうひとつ、子どもの全年齢を通して、さまざまな相談に対応していく子ども家庭総合支援拠点を同じく10月1日にオープンする予定です。こちらは市が設置するものです。この一角に不登校の適応指導教室を作るということになります。すでに、出来ているものとしては、障がい児の放課後デイサービスで、NPO法人ぱれっとに委託しています。障がいを持つお子さんが保護者が迎えに来るまで過ごす場所になります。これら4つの機能を持つ施設を、子育て支援課で、主に建物の準備をしています。6月補正で予算計上し可決されましたので、今後改修工事を行います。9.12月補正で、備品等の準備は学校教育課が行います。現在、対外的な関係部署と連絡調整、準備等をしている段階です。今まで、不登校の教室というと、主に勉強を教える場所という意味合いが強かったですが、これからは福祉的な要素も必要と考えています。勉強だけではなく、いろいろなことを学ぶ場、居場所、にかほ市独自のものを作りたいと計画しています。義務教育が終わっても行く場所がなくならないように、いろいろなケースにあわせて活用していきたいと考えています。今後は、本荘に通っている子どもたちも含め、自宅から出られない子たちの掘り起こしを、学校、教育研究所、子育て支援課、学校教育課を中心に行っていく予定です。ひきこもりの対策にもつながっていくと考えているところです。適応教室は、NPO法人ぱれっ

とに委託していく方向で検討しています。定年された元教師、福祉の相談員の体制を整えて、勉強と福祉両サイドで、長く居場所になるような形を理想としています。これらの内容は、9月市議会で説明する予定となっております。関連する予算など、事前に教育委員会に提出していくこととなりますので、今日のご報告までとさせていただきます。

3点目、にかほ市の学校環境適正化検討委員会の設置です。こちらは、簡単に言うと学校の統廃合の検討委員会になります。子どもの数が年々減っていきまして、現在生まれる子どもが年間90人を切っている状況です。にかほ市全体で、6年後、1学年90人弱という数字が見込まれます。それに先立ち、複式学級のところも出てきます。これらの状況を踏まえて、10月以降、委員会を立ち上げて、学校環境適正配置を検討することになります。現在、要綱の設置、検討委員会の内容、今後の予定を詰めているところです。このあと、教育総務課長から現段階の説明をさせていただきます。秋以降、いろいろと動きがあります。今日は第一回目の報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【教育長】

教育次長から、3点の説明がありました。1点目は、前回教育委員会で指摘いただいた点を踏まえて、課内で検討し、今後も教育委員会議案として審議をするということになりました。よろしくお願いいたします。2点目は、適応指導教室についてですが、単独のものではなく、市として複合的に子育てをやっていこうというものです。児童家庭相談支援センターの設置場所が、にかほ市に正式に決まったため、今回の報告となりました。教室の内容は、教育委員会で検討し、委員の皆さんに問いかけます。また、来年度の4月に向けて、9月の補正予算を通じて、情報を提供していきたいと思います。3点目の適正委員会です。総合教育会議のときも、伊藤委員からご指摘うけました。このあと教育総務課長から説明ありますが、後期総合発展計画の5年間で適正委員会を立ち上げ進めていくというのが私たちの考え方でした。適正委員会についても、具体的に進めていく段階で、委員の皆さんの意見を吸い上げる機会を設けたいと思います。具体的にこんなふうにして、統廃合を考えていくのがいいのではと、委員の皆さんと考える時間を設けながら、考えていきたいと思います。今の段階で皆さんから、質問等あればお願いします。

【小松委員】

県の児童相談所の支所ができるということですが、全県ではどこにあるのですか。

【教育次長】

児童相談所は、秋田市にあります。このたび、県が由利本荘管内に1か所設置する予定で動いていました。由利本荘市になるか、にかほ市になるか、いろいろなやりとりがあって、にかほ市に決まりました。役割としては、にかほの子どもだけではなく、由利本荘市の子どもの相談にも等しく対応していきます。

【伊藤委員】

不登校の子どもの受け入れで、カダーレに行っていると話は聞いていました。仁賀保中学校の一教室を不登校の子どもたちが来られるように設けたとも聞いていましたが、そちらとの兼ね合いはどうなっていますか。また、新しい教室を作るのもよいですが、NPO法人に委託するのは、どうなのかなと思います。退職した先生が対応するというのはいいのですが、義務教育なのに教師の手から離れるというふうに捉えてしまいました。

【教育次長】

学校のなかにあつて、例えば、保健室だとか、そこに行けるお子さんはまずよいのですが、お子さんにも、いろいろなタイプがあつて、学校に行けない子どもたちが行く場所として、カダーレがあります。ただ、カダーレは遠いし、勉強中心の内容なので、自宅を出るきっかけにならないため、にかほに作るのは、学ぶ場でもあり、遊びに行つてもいいし、お話をしに行つてもいい「居場所」を作りたいのです。今、カダーレも直営ではありますが、実際は退職された学校の先生と相談員を雇用して運営しています。にかほ市は教育研究所に不登校担当の先生がおります。学校を回つて、家庭とのつなぎ役をしてくださっています。場所は違いますが、細やかに連携していく予定です。高校に入つても中退したり、引きこもりになったり、義務教育が終わつたあとの居場所やつながる部分対応がとても手薄の状態です。福祉と教育の垣根を越えて、福祉制度を知り尽くしている部署との連携の必要性を強く感じています。私たちも、最初、直営で考えましたが、NPO法人の代表の方は、とても信頼のおける方で、行政とも制度を通じて近い認識であります。面接を含め、活動内容をみたり、検討し、方向性を決めているところです。

【学校教育課長】

仁賀保中学校の件ですが、象潟中学校にも生徒支援担当、いわゆる不登校の子どもの担当する職員がおります。また、同じスクールカウンセラーが曜日を交代しながら両校を担当しています。金浦中学校には、別のスクールカウンセラーがおります。不登校担当と言っても、教育相談が中心になっており、勉強を教えるところまでは、なかなか難しい状況です。仁賀保中学校に設置しているのは、不登校対応とは違って、通級指導教室です。学習障害だとか情緒系の子どもたちを、週1回から2回程度、情緒の安定ということでソーシャルスキルの支援を行っています。象潟小学校にも同様の教室がありますが、不登校適応教室はない状況です。

【伊藤委員】

子育て支援課と教育委員会と場所も違いますし、かなり横の連絡を密にしないとうまく運営できないのかなと感じています。今、次長が言った福祉と教育をどう両立してい

くのかと大きな課題だと思うので、できれば教育委員会のあるところ、青少年ホームか金浦公民館に設置できたら、もう少し意思統一できるのではないのでしょうか。どの自治体でも福祉と教育の両立は難しく、簡単にいきません。この機会に、県内で先駆けて成功した事例に、にかほ市がなってほしいと思います。

【教育次長】

はい。がんばります。

【教育長】

今、伊藤委員が言ったように、今までは、不登校は学校教育課、子育て、障害者は福祉課と別々に対応してきました。それは、場所も違いますし、なかなか連携がうまくいきません。他市では、学校教育課と子育てがひとつの部署になっているところもあります。今回は、スマイルに、子育て、福祉、学校教育を一緒にして、子育てを複合的に捉え、引きこもりも一緒に考えていこうというのが大きな狙いです。このほかに不登校は、大人になってから、引きこもりになるケースもあることから、複合的な子育てから、自立心を育てる、自立した子どもを育てていきたいと考えます。いずれ、教育研究所内に不登校担当部門もあることから、こちらと一緒に場所という計画もあります。今までより総合的に、密接に連携していくこととなります。不登校というと、学校に戻すのが主流でしたが、学校に戻らなくても、社会に出て自立し生活する力を育てるのが今の捉え方です。文部科学省も方針を出しています。今まで以上に連絡を取り合って、連絡を密にやっていきませんか。次長、よろしくお願いします。

【小松委員】

市民側からみると、赤ちゃんで困ったことは、金浦保健センター「ネウボラ」に行けばなんとかかなると。実際、なんとかできました。なので、何か子育てに困ったら、スマイルに行けばなんとかかなるというイメージを市民が抱くような施設を作っていただければと思います。困っているとき、物事をよく考えることができないので、漠然とした要望に応えられるような場所を作っていただければ、利用者としてはたいへん助かります。よろしくお願いします。

【教育次長】

一生を通して、そういった場所にしていけたらと考えています。

【教育長】

進めていくうちに、委員のみなさんには、いろいろな相談に乗っていただくことになると思います。どうぞよろしく申し上げます。みなさん、よろしいでしょうか。

次に、報告に入ります。『「おもちゃ」とは何か?』東京おもちゃ美術館の多田館長のお話のなかで、今、ICT機器を使いこなす能力が求められているなかで、小さい子ども

もにとっては、木のおもちゃで遊ぶことが、ある意味では、心の教育、生き抜く力に繋がっていくのではとおっしゃっています。私も、ときどき家族で出かけますが、レストランで、そばにいた家族は、一言も会話がありませんでした。それぞれ、携帯やタブレットを見ている。いったい、レストランに何のために行くのでしょうか。携帯は止めて、話をしたり、食事をしたりするために行く場所であり、家庭もそうだと思います。おもちゃで遊ぶことは、五感を磨くことになります。なんでもかんでもスマホではなく、おもちゃから木のぬくもりとか、自然と子どものなかに入っていくのではないのでしょうか。大人も子どもの対応について、反省しなければならないのではと館長のお話をきいて感じたところです。どうぞよろしくお願いします。

それでは、教育総務課長から、順に報告をお願いします。

(教育総務課長から順に報告) 各課からの報告は別添、資料参照

【教育長】

各課長から報告がありましたが、委員の皆様から何かありませんか。

これで、全ての審議が終わりましたので、次回の7月の教育委員会ですが、7月22日金曜日、午後1時30分から、金浦公民館で行いたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは以上をもちまして第7回にかほ市教育委員会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

【閉会 午後2時37分】

署名

にかほ市教育委員会 教育長 齋藤光正

〃 委員 小松雅子

〃 委員 伊藤知



「おもちゃ」とは何か？

にかほ市教育長 齋藤 光正

コロナ禍により、家族と一緒に過ごす時間が増えております。そして、「おもちゃ」の売り上げが増えているということです。子どもにとって「おもちゃって何なんだろうか」と思ってしまうこの頃です。

先日の新聞に、東京おもちゃ美術館の多田千尋館長のお話が掲載されておりましたので、紹介したいと思います。

1. 東京おもちゃ美術館とは？

- ・新宿区四谷の廃校を利用して作られたものである。
- ・世界のおもちゃに触れて遊ぶことができるアートミュージアムである。
- ・海外のおもちゃ博物館との姉妹間協定を広げている。

2. おもちゃとは？

- ・おもちゃとは、食べ物と同じ、心の栄養素である。
- ・子どもにとって必要なことは、心と体、両方の栄養である。子どもたちはなるべくアナログなものに触れていくことが大事である。それがおもちゃである。
- ・おもちゃ遊びは、五感を磨き、コミュニケーション力を育てる手助けにもなる。

3. おもちゃのよさを感じさせる工夫とは？

- ・一つ一つのおもちゃを工夫して大人が子どもと一緒に楽しんで考えることが大事である。
※みんなで一緒にやると会話が生まれやすいし、運によって勝敗が決まるというものも、大人が子どもと一緒にになって楽しめる要因である。
- ・他者と関わることを大事にする。
※相手と接することで、その人の個性をつかみ、子どもはコミュニケーションを覚える。おもちゃを与えてそれでおしまいということではいけない。
- ・おもちゃを介して、平和を美しいと思う感性を育むことが大切である。

4. おもちゃの問題となる活用とは？

- ・日本、アメリカでは、戦争玩具の割合が高い。
- ・戦艦や戦闘機のプラモデルを製作し、コンピュータゲームなどを通して、多くの人を殺傷する体験を幼い頃からしている。
- ・欧米では、おもちゃに兵器などの要素を盛り込んでいる。
※大人は子どもの発達においておもちゃの観点から責任を持つべきである。

5. 木のおもちゃを使った木育とは？

- ・日本は世界有数の森林大国である。しかし、木を使ったおもちゃが少ない。
- ・木のおもちゃの素晴らしさは、五感に訴えかけるところである。
- ・感触や匂い、そして、命があるものである。
- ・ぬくもりから命を扱っている感覚も無意識に育つ。

6. 大人の対応とは？

- ・親自身が楽しんでほしい。それが子どもにも伝染する。
- ・おもちゃ館で親がベンチでスマホをいじっているのはダメ。
- ・大人も触れて遊べるようにしてほしい。
- ・親も子どもも他世代で交流できるアートミュージアムにしてほしい。

教育総務課

1. 6月の発注実績

○象潟小学校浄化槽分電盤撤去修繕

契約金額：¥234,300円

期 間：6月14日～8月31日

業 者：㈱千秋テクノエンジニアリング

内 容：分電盤撤去修繕 1箇所

○仁賀保中学校武道場他排煙窓オペレーター修繕

契約金額：¥264,000円

納 期：6月14日～8月31日

業 者：㈱三共

内 容：排煙窓修繕 2箇所

2. 学校環境適正化検討委員会の設置について

○目的

市立学校のよりよい教育環境を整備し、充実した学校教育の実現に資するため学校の適正規模・適正配置及び通学区域などについて調査・審議を行うことを目的としてにかほ市学校環境適正化検討委員会を設置する。

○委員構成・・・以下30人以内

- (1) 地域代表者 (2) 保護者代表者 (3) 学校関係者 (4) 市議会関係者
(5) 識見を有する者 (6) 保育園、幼稚園関係者 (7) その他

○スケジュール (案)

- 令和4年 9月 補正予算計上、アンケート実施
10月 委員委嘱 第1回委員会開催
以降令和5年3月まで5回の委員会を予定
- 令和5年 3月 提言書及び基本方針(案)の提出
5月 基本方針の確定(市教育委員会で決定)
8月 市立学校環境適正化基本計画(案)の策定
9月 パブリックコメントの実施
10月 基本計画の確定

学校教育課

1. 事業報告

- 5月26日(木) 本荘由利中学校陸上競技大会
- 6月1日(水) 市校長会
- 6月2日(木) 特別支援教育関係事業等運営委員会
- 6月4日(土) 本荘由利小学校陸上競技大会
- 6月13日(月) 第1回情報教育活性化委員会
- 6月18日(土)～19日(日) 中学校地区総体
- 6月22日(水) 情報教育推進委員会
第1回教育支援委員会
- 6月26日(日) 部活動指導員研修会(由利本荘市と合同)

2. 事業計画

- 6月30日(木) 教育研究所運営委員会
- 7月10日(日) 全国小学生陸上競技交流会大会秋田県予選会
- 7月12日(火) 本荘由利校長会
- 7月16日(土)～17日(日) 県中体連総合体育大会
- 7月25日(月) 夏季教職員研修会
- 7月27日(水) NRT結果検討会

※本荘由利小学校陸上競技大会

- 優勝 ・女子6年100m(平沢小) ・混合4×100mリレー(平沢小) ・男子4年100m(金浦小) ・男子5年100m(象潟小) ・男子コンバインドA(象潟小)
- 準優勝 ・女子5年100m(平沢小) ・女子6年100m(平沢小) ・男子コンバインドB(金浦小) ・男子1000m(象潟小)
- 第3位 ・男子1000m(平沢小) ・男子4年100m(院内小) ・男子5年100m(金浦小) ・男子コンバインドA(金浦小) ・女子6年100m(象潟小) ・混合4×100mリレー(象潟小)

※コンバインドA；80mハードル、走高跳

※コンバインドB；走幅跳、ジャベリック投げ
(裏面へ)

戦績	種目等	氏名	学年	
仁賀保中	優勝	総合		
		男子総合		
		女子総合		
	第1位	男子共通800m	佐藤 悠生	3年
		男子低学年4×100mリレー	田中 暢 1年 鎌田 絢人 2年 佐藤 大也 1年 佐藤 綾 2年	
		女子3年100m	宇沼 愛菜	3年
		女子共通100mH	木村 美月	2年
		女子共通4×100mリレー	長田 嬉希 3年 保田 歩花 3年 宇沼 愛菜 3年 熊谷 碧衣 3年	
		女子共通走高跳	小杉 梓乃	3年
		女子共通4種	熊谷 碧衣	3年
	第2位	男子2年100m	佐藤 綾	2年
		男子共通3000m	横山 良太郎	3年
		男子共通砲丸投	佐藤 稜斗	3年
		女子共通砲丸投	鈴木 万伴	2年
	第3位	男子1年1500m	佐藤 右理	3年
		男子共通走高跳	下居 祐大	3年
		男子共通走幅跳	鎌田 絢人	2年
		男子共通4種	岩下 瑛斗	3年
		女子共通200m	田中 紫万	3年
		女子共通800m	長田 嬉希	3年
女子1年1500m		横山 小雪	1年	
女子共通走幅跳		保田 歩花	3年	
金浦中		第1位	男子共通走幅跳	阿部 聖 3年
		女子1年100m	今野 莉心※ 1年	
	第3位	男子共通4×100mリレー	大宮 悠磨 3年 家田 雷武 3年 齊藤 煌 3年 佐藤 元紀 3年	
		女子低学年4×100mリレー	阿部 崇子 2年 阿部 心美 2年 佐藤 莉緒 1年 今野 莉心※ 1年	
象潟中	第1位	女子共通砲丸投	金子 夏美 3年	
		女子共通800m	須藤 心愛 3年	
	第2位	女子2・3年1500m	佐藤 楓恋 3年	
	第3位	女子共通100mH	鈴木 紗弥 3年	
男子2・3年1500m		齊藤 優星 2年		

※今野莉心の「今」は、異体字。ひとやねに「テ」

戦績	部活動名	氏名	学年
仁賀保中	準優勝	サッカー	
		女子バスケットボール	
		野球	
		女子剣道	個人 宮本 花帆 1年
	第3位	男子水泳	100m背泳ぎ 佐々木 勇登 2年
		男子水泳	200m背泳ぎ 佐々木 勇登 2年
		男子バスケットボール	
男子剣道		個人 齋藤 胡太郎 3年	
金浦中	準優勝	男子柔道	個人 55kg級 伊原 史竜 2年
		男子柔道	個人 81kg級 中田 嶺信 2年
	第3位	サッカー(金浦・本荘南・本荘京・大内)	
		男子柔道	団体
		男子柔道	個人 50kg級 齋藤 風馬 1年
	男子柔道	個人 55kg級 齋藤 蒼 2年	
象潟中	優勝	バレーボール	
		女子水泳	50m自由形 須藤 心愛 3年 ※大会新
		女子水泳	100m自由形 須藤 心愛 3年 ※大会新
	準優勝	女子水泳	団体
		女子水泳	100m平泳ぎ 伊藤 成望 3年
	第3位	男子ソフトテニス	団体
		女子ソフトテニス	団体
		男子ソフトテニス	個人 佐々木蒼空 3年 佐藤 寛太 3年 ペア
		男子卓球	団体
		女子水泳	400mフリーリレー 須藤 心愛 3年 須藤 沙也佳 1年 伊藤 成望 3年 佐藤 琉生 3年
		女子水泳	50m自由形 佐藤 琉生 3年
		女子水泳	100m背泳ぎ 須藤 沙也佳 1年
		女子水泳	200m背泳ぎ 須藤 沙也佳 1年
		女子剣道	団体
		ソフトボール(象潟・本荘北・矢島・本荘東)	

生涯学習課・金浦公民館

1. 事業報告

- 5月28日(土) ユニバーサルマナー講座②
バリアフリーマップ「Bmaps」を使って散策してみよう
6人参加
- 5月29日(日) 福寿大学 5月授業 開学10周年記念事業①
「にかほ・ひまわり会」による民舞鑑賞 37人参加
- 6月4日(土) 浜っ子クラブ「谷さんのおはなし会」 9人参加
- 6月11日(土) ユニバーサルマナー講座③
ボードゲームを体験してみよう 6人参加
- 6月15日(水) 公民館講座 「谷さんのおはなし会」 31人参加
- 6月16日(木) まんまある 「心躍る♡アイシングクッキーLesson」
親子4組11人参加
- 6月22日(水)・23日(木)・24日(金)
パソコン講座「初級編」①②③ 各12人参加
- 6月23日(木) 福寿大学 6月授業 「ボードゲームに挑戦しよう」
37人参加

にかほ夢ギャラリー展示

- 6月 「佐藤 昇 作品展」
出展者 にかほ日本画・水墨画同好会 佐藤 昇

2. 事業計画

- 6月27日(月)・28日(火) パソコン講座「初級編」④⑤
- 6月30日(木) 第1回生涯学習・社会教育計画策定委員会
- 7月7日(木) 浜っ子クラブ「創作活動」
- 7月9日(土) 公民館講座「親子で船釣り体験教室」
- 7月10日(日) ほんわっカフェ

にかほ夢ギャラリー展示

- 7月 「湾頭絵画クラブミニ作品展」
出展者 湾頭絵画クラブ

図 書 館 ・ 仁 賀 保 勤 労 青 少 年 ホ ー ム

1. 事業報告

【図書館】

展示コーナー

3館合同企画 「お父さんの育児休暇」

秋田県男女共同参画推進月間に合わせて設置

5月27日(金)	ブックスタート事業	5人参加
6月21日(火)	第1回にかほ市図書館協議会	7人参加
6月24日(金)	ブックスタート事業	5人参加

※春のリサイクルブックフェア(市内3図書館同時開催)

5月21日(土)～27日(金)

仁賀保分館	446冊(出した数)	216冊(出た数)
象潟分館	341冊(出した数)	259冊(出た数)
図書館こぴあ	243冊(出した数)	146冊(出た数)

【仁賀保ホーム】

6月2日(木)	トレーニング室新規利用者講習会	8人参加
6月8日(水)	オンライン講習会②	2人参加
6月23日(木)	ツキイチコンサート【サマージャズナイト2022】 出演団体:にかほジャズクインティッド	70人参加
6月24日(金)～26日(日)	グランドピアノ一般無料開放	延べ26人参加

2. 事業計画

【図書館】

6月29日(水)	第1回にかほ市読書感想文募集事業審査会
7月9日(土)	おはなし会 読み聞かせボランティア いぶき
7月25日(月)～	図書館こぴあ大規模改修工事

【仁賀保ホーム】

7月7日(木)	トレーニング室新規利用者講習会
7月13日(水)	オンライン講習会③

仁賀保公民館

1. 事業報告

- 6月 1日(水) 公民館講座「季節を彩る布飾り」1回目
参加者 9人
- 4日(土) 放課後子ども教室「キッズユートリック」1回目
『始まりの会・谷さんのおはなし会』参加者23人
- 15日(水) むらすぎ学園「市内施設見学」
『銚立ビジターセンター見学』 参加者42人
- 17日(金) 公民館講座「ダンスエクササイズ講座」2回目
参加者20人
- 20日(月) 消防訓練
- 25日(土) 公民館講座「元気のでる古典講座」1回目
『蜻蛉日記 藤原道綱の母』 参加者31人
- にかほ夢ギャラリー展示
6月 写真「自然散歩Ⅶ」 出展者 フォト写楽鳥海

2. 事業計画

- 7月 4日(月) キッズユートリック「あそびりんぴっく」1・2年生
- 5日(火) キッズ・まもーる「平沢小学校」
- 6日(水) 公民館講座「季節を彩る布飾り」2回目
- 7日(木) キッズ・まもーる「院内小学校」
- 9日(土) 公民館講座「元気のでる古典講座」2回目
- 15日(金) 公民館講座「ダンスエクササイズ講座」3回目
- 18日(月) 公民館講座「にかほ再発見！自然観察会」2回目
～遊佐町の丸池様と牛渡川を訪ねて～
- 20日(水) むらすぎ学園「創作活動」
- 28日(木) キッズユートリック「遊佐めぐり」3～6年生
- 30日(土) 公民館講座「元気のでる古典講座」3回目
- 31日(日) 夏休み親子自然観察会「にかほ昆虫たんけん」

にかほ夢ギャラリー展示

7月 絵手紙作品展 出展者 絵手紙サークル朋の会

象潟公民館

1. 事業報告

- ・ 6月 3日 (金) 鳥海山・飛島ジオパーク講座 石沢大滝と屏風岩 15人参加
- ・ 6月 4日 (土) 友遊くらぶ② 谷さんのおはなし会 3人参加
(3公民館子ども教室合同開催)
- ・ 6月 8日 (水) 俳句教室 ※講師の都合により中止
- ・ 6月10日 (金) イスに座ってできる軽運動① 17人参加
- ・ 6月21日 (火) 白寿大学 「睡眠」と「健康」の知恵袋講座 50人参加
- ・ 6月24日 (金) イスに座ってできる軽運動② 18人参加
- ・ にかほ夢ギャラリー展示 6月 「つるし飾り」 出展者 古布の会

2. 事業計画

- ・ 7月 3日 (日) 友遊くらぶ 「車いすバスケット体験会！」
- ・ 7月 8日 (金) イスに座ってできる軽運動③
- ・ 7月11日 (月) 絵手紙教室②
- ・ 7月18日 (月・祝) にかほ再発見！自然観察会② (仁賀保公民館と共催)
遊佐町の丸池様と牛渡川を訪ねて
- ・ 7月20日 (水) 野菜ソムリエのおはなし
- ・ 7月26日 (火) 白寿大学 心も体も喜ぶ体操
- ・ 7月27日 (水) 子ども版画教室①
- ・ 7月29日 (金) 子ども版画教室②
- ・ 7月31日 (日) 親子自然観察会 (仁賀保公民館と共催)
- ・ にかほ夢ギャラリー展示 7月 アトリエ kirei kirei 出展者 池田 貞氏

白瀬南極探検隊記念館

1. 事業報告

(1) 入館者数の実績

	R4年度	R3年度	増減(▲)	説明
4月～5月	2,567人	1,659人	54.7%	
うち5月	1,408人	813人	73.2%	GW期間の入館者増
6月の状況	・6/25時点で昨年度の同月と比較し23.8%の増。(昨年度はエントランス工事のため6/21～7/2まで休館)			

(2) 企画展「大和雪原を越えて～冒険家 阿部雅龍『白瀬ルート』挑戦の記録 2021-2022」

期間：3月22日（火）～ 7月18日（月）※開催中

内容：阿部雅龍氏「白瀬ルート」挑戦の記録を写真、映像のほか、冒険で着用したウェア等各種グッズの展示により紹介。白瀬隊による大和雪原到達110周年記念事業。

※「植村直己冒険賞」受賞（令和4年6月4日授賞式）

2. 事業計画

(1) 白瀬南極探検隊運営審議会

日時：6月28日（火） 場所：金浦公民館

案件：役員選出、R3実績・決算報告、R4計画予算

(2) 企画展「白瀬隊のペンギン Penguin」

期間：7月20日（水）～11月6日（日）

内容：白瀬隊員たちが残した資料の中から、ペンギンについて紹介します。

・館内ペンギンスタンプラリー

・ペンギンワークショップ（塗り絵、白瀬・南極クイズ）

(3) オンラインイベント「南極・昭和基地ツアー」

日時：7月30日（土）14時00分～15時45分

内容：南極・昭和基地の第63次南極観測隊員と白瀬記念館を含む連携機関とオンラインで結び、観測隊の活動や南極の自然を紹介します。

フェライト子ども科学館

1. 事業報告

(1) 新型コロナウイルス対策について(6月)

- ・休館日：月曜日 6月、7月はコロナ集団接種一旦終了により日曜、祝日とも開館。
- ・入館時間 9:00～11:45、13:00～16:30、館内の換気、消毒のため一時閉館(時間)
- ・館内の人数制限 なし ※状況を見て対応
- ・入館者への依頼事項：入館者の記録票記入、検温、手指消毒、マスク着用等
- ・実験工作教室等：少人数で実施

(2) 入館者数の実績

	R4	R3	前年同期比	説明
4～5月計	3,345人	1,343人	149.1%	昨年度はコロナ禍で休館するなど制限があったため。
うち5月	2,406人	673人	257.5%	

(3) 6月の事業実績

① 6月11日(土) 実験工作教室「パタパタチョウ」をつくろう！

○参加者：市内小学児童(保護者同伴)、4名(6名) 講師：山下研究員(TDK退職者)

マグネット磁石(ボンド磁石で作る工作、「磁石の性質」を学びました。

2. 7月の事業計画

① WRO秋田県中央地区予選大会実行委員会主催 事業

WRO秋田県中央地区予選大会(8/5(金)開催)の講習会として2会場で開催

・7月3日(日) ロボット教室 於 当科学館

・7月10日(日) ロボット教室 於 由利本荘市文化会館「カダーレ」

② にかほ市科学振興委員会事業

○対象 小学3年生～中学3年生

・7月26日(火)「TDK 歴史みらい館で科学を体験してみよう！」TDK 歴史みらい館

・7月27日(水)「にかほ市のジオサイトめぐり」 鳥海銚立ビジターセンター
銚立展望台

・7月28日(木)「夏の天体観測」 由利本荘市文化会館「カダーレ」

③ 夏休み特別企画展「ミステリーレインボーワールド」※美しい虹の描写の展示

7月23日(土)～8月21日(日) 当科学館 2階 多目的ギャラリー

④ 職場体験学習

7月12日(火)、13日(水) 2日間 仁賀保中学2年生 4名

受付、清掃、館内案内業務、工作実験教室の準備作業を行います。

3. その他

・夏休み期間中(7/23～8/24)の開館日

夏休み期間中(7/23～8/24)につき、定休月曜日は開館となります。

8月1日(月)以降については、4回目ワクチン集団接種が開始されるため、お盆
休暇期間中(8/11(祝)～16(火))を除き各週日曜日、祝日は休館します。

以上のことから、夏休み期間中(7/23～8/24)の(特例による)開館日は、7/25(月)、
8/1(月)、8日(月)、11日(祝)、14日(日) 15日(月)、22日(月) となります。

文化財保護課・象潟郷土資料館

1. 事業報告

○入館者数の実績

	R 4	R 3	比較	増減率	説 明
4～5月 計	411 人	380 人	31	8.1	
うち5月	243 人	233 人	10	4.3	

- ・ 6月 4日 (土) 池田修三生誕 100 周年記念企画展 ～暮らしを彩る木版画～
～令和5年5月21日 (日)
展示説明会 9:00～ (11名参加) 11:00～ (16名参加)
- ・ 6月 7日 (火) 令和4年度第1回獅子ヶ鼻湿原緊急調査委員会
- ・ 6月16日 (木) ～7月12日 (火)
秋田県立図書館特別展 ～池田修三とふるさと秋田～
- ・ 6月17日 (金) 仁賀保高校番楽学習 (講師:小滝番楽)
- ・ 6月21日 (火) ～6月22日 (水) 白幡森 (若者支援住宅) 埋蔵文化財分布調査
- ・ 6月22日 (水) 史跡鳥海山保存管理計画策定委員会 (由利本荘市共同)
- ・ 6月23日 (木) ～6月24日 (金) 獅子ヶ鼻湿原緊急調査委員会現地調査

2. 事業計画

- 6月30日 (木) 伝承芸能保存団体連絡協議会
今年度の事業計画について、伝承芸能祭の実施について
- 7月 1日 (金) ～ 9月25日 (日) 秋田駅・空港・にかほっと池田修三展
(パネル展示ほか) ※観光課主催
- 7月29日 (水) 郷土史研究会視察研修
酒田市美術館 (版画で見る平山郁夫のシルクロード・奥の細道)